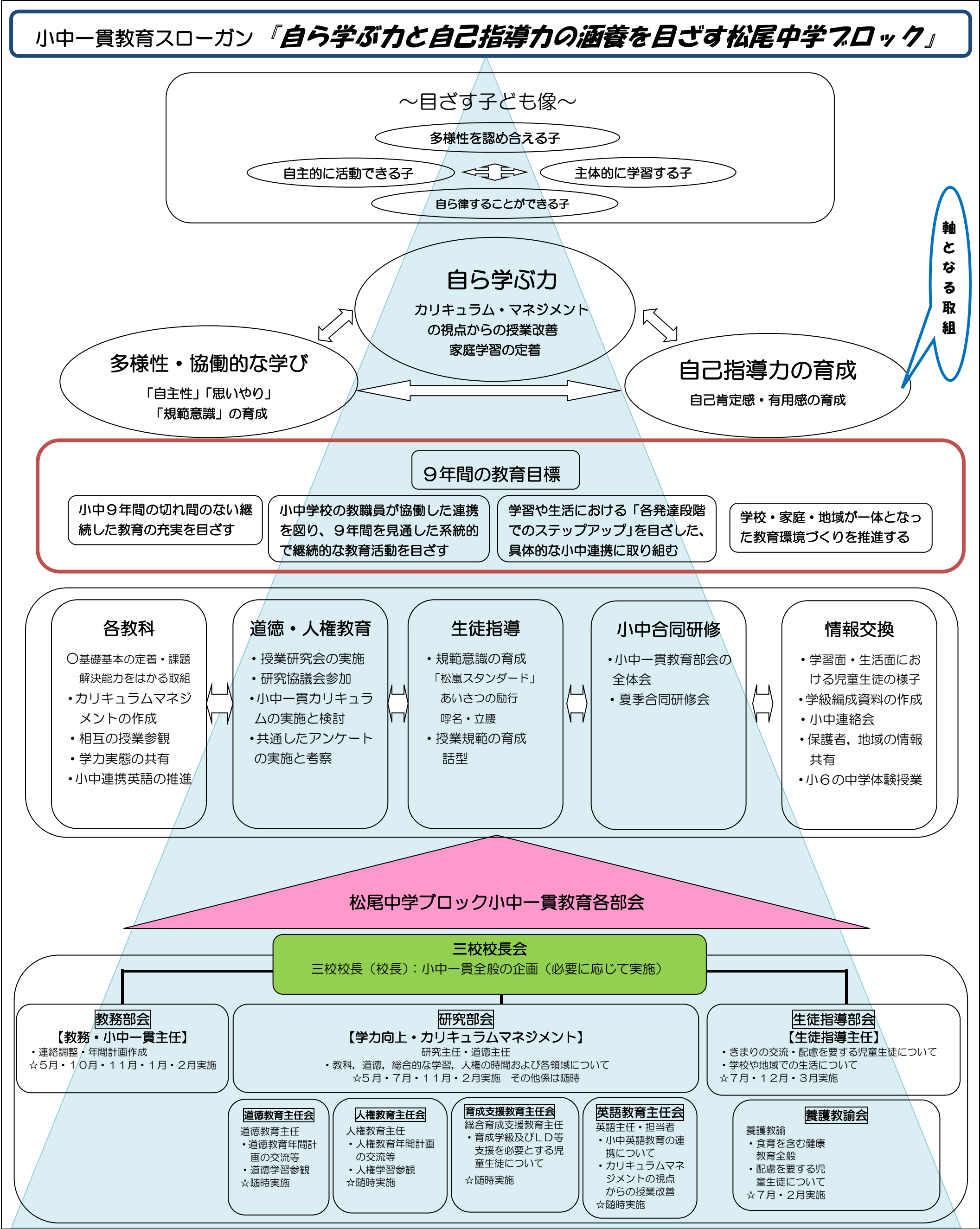


松尾中学ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力 ～社会における自らの役割や将来の生き方を考える力、目標を立てて計画的に取り組む態度の育成～ ○お互いの個性を尊重し、他者の長所や感情を理解できる、人とともに社会を生きる力 ○社会規範やマナーなどが守れる、自分を知り律する力 ○計画を立て、解決策を検討する、課題を見つけ解決する力 ○夢や希望をつくりあげる力								
学年または学年区分ごとにめざす姿 ・お互いの良さを認め、協力できる子 ・自分らしさを大切にする子 ・自分の力で解決しようと努力できる子 ・目標を立てることができる子				・相手の立場に立って考え行動できる子 ・ルールやマナーを守ることができる子 ・多様な方法を考え、主体的に解決できる子 ・進んで役割を受けもち、責任を果たそうとする子				
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動 ■生き方探究パスポート						>		
＜松尾小学校の取組＞ ＜嵐山東小学校の取組＞ ・健康観察での児童呼名 ・たてわり活動 ・1年生をむかえる会 ・6年生を送る会 ・松尾フェスティバル ・まつりんびっく（運動会） ・デジタル図工展 ・あらひがスポーツフェスティバル（運動会） ・あらひがスタディーフェスティバル（学習発表会） ・嵐山東ギャラリー（作品展）						＜松尾中学校の取組＞ ・始業時における生徒呼名 ・生徒の発達段階（①教師が生徒の ②仲間同士の ③自分で自分の）に応じた「いいところ探し」を、 学校体制で取り組む ・ボランティア活動の募集（校内・地域）		
＜中学ブロックとしての取組＞ ○教務部会 ・小中一貫主任として企画・立案 ・学校行事の調整 ・合同夏季研修会の企画 ○研究部会 【学力向上・学力分析・授業改善・カリキュラムマネジメント】 ・全国学力学習状況調査分析 学習支援プログラムの分析 松尾中学ブロック児童・生徒の学力課題の共有 ・授業における「本時の目標（ねらい めあて）」の明確化とその「まとめと振り返り」の徹底及び「話型」の統一 ・カリキュラムマネジメントの視点からの「授業改善・学力向上」 ・合同夏季研修会の企画 【道徳主任会】（三校道徳教育主任） ・小中一貫道徳 重点項目の共有 ・年間2回の小中合同道徳授業研修会・研究協議の実施 【英語教育主任会】 ・『小中一貫教育推進事業』 「カリキュラムマネジメントの視点からの授業改善」の合同研究 【人権教育主任会】 ・人権教育において小中での指導内容に系統性を持たせるとともに、カリキュラムマネジメントの検討 ・小・中学校人権学習授業参観（年間2回） 三校主任会での研究協議 「人権教育における系統性・継続性」【人権教育主任会】 ○生徒指導部会 ・年間を通した三校での挨拶運動の実施（統一したポスター【松嵐スタンダード】）を校内・地域に掲示 ・自己存在感・自己肯定感の育成：毎朝学活時の呼名 ・学習規律：始業時・終業時のあいさつ、立腰（学習時の姿勢 腰骨を立てて背筋を伸ばす） ・生徒会の企画・運営による「オープンスクール」（中学校授業体験・部活動紹介） ○学校運営協議会・地域生徒指導連絡協議会 ・地域の取組などにより、地域、保護者、児童・生徒との交流を図り、社会体験を広げる取組 ・ボランティア活動の充実 地域・社会に貢献し、役に立つことにより自己指導力の向上を図る								

学びの約束・ルール

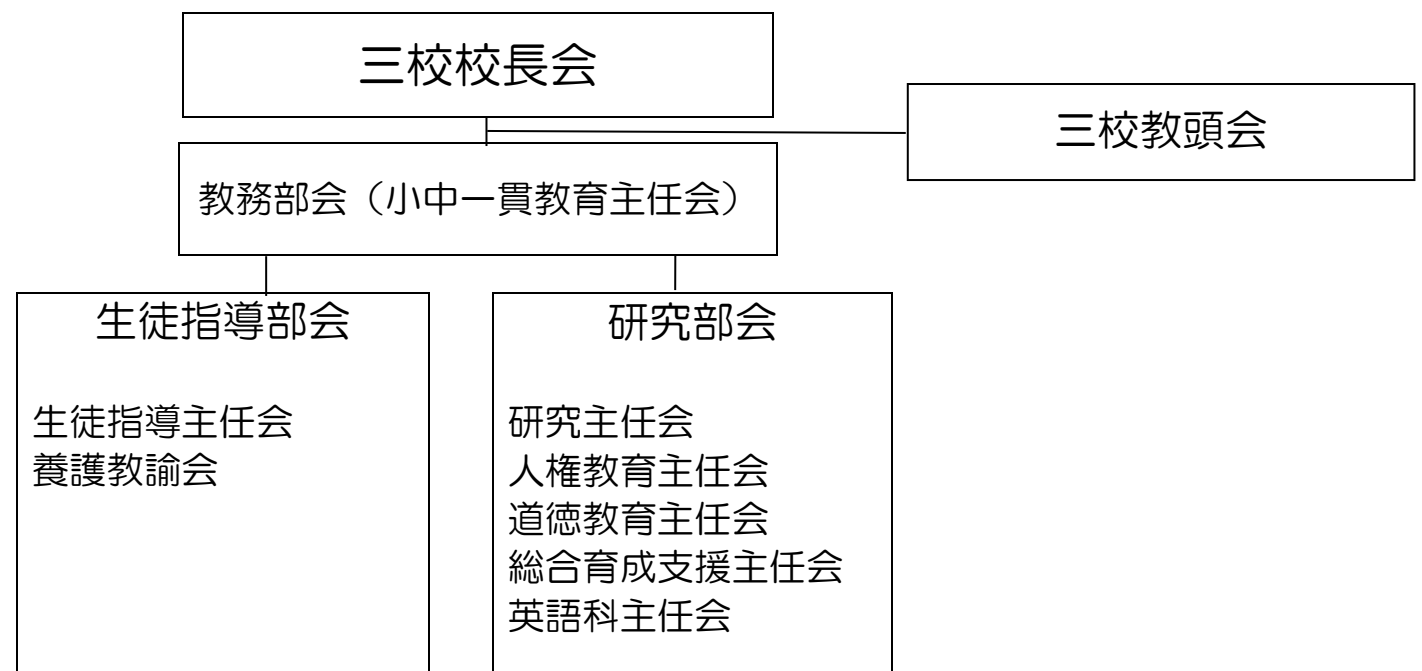
項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
学習規律の 向上	始業時・終業時のあいさつ 「立腰」（学習姿勢） 目標（ねらい めあて）の明示 振り返り活動 話型統一								
自ら学ぶ力	（全国学力・学習状況調査） 学習支援プログラムの活用 分析 カリキュラムマネジメントの作成 家庭学習課題の充実・家庭学習習慣の定着 放課後まなび教室 生き方探究パスポート								
自己指導力	たてわり活動 道徳 人権学習						道徳 人権学習 いいところ探し		
	児童会・生徒会活動 ボランティア活動								

小中一貫教育推進体制

松尾中 小中一貫教育推進組織図

松尾中学区ブロック小中一貫教育推進委員会	
委員長	松尾中学校校長
副委員長	嵐山東小学校校長・松尾小学校校長
総務	松尾中学校教務主任

委 員		
(各校)		
教務主任	人権教育主任	研究主任
生徒指導主任	道徳教育主任	総合育成支援主任
英語科主任	養護教諭	



※各部会の役割、取組内容、年間回数などについては『小中一貫教育構想図』に記載しています。

家庭・地域との連携・協力に向けた取組

- 学校だよりとHPにおいて、中学区ブロックが9年間を通して育てたい力を掲載し、家庭や地域の理解と協力を呼びかける。
- 小学校の学校運営協議会と中学校の学校運営協議会において、小中一貫した子どもたちに育てたい力を周知し、理解と協力を求めると共に、地域やPTAが連携できることを模索する。
- 各校の学校評価アンケートにおいて統一したアンケート項目を再考する。